



# 平成29年 別府市特別功労表彰

別府市では11月3日「文化の日」に、市政の振興、公共の福祉増進や文化の向上などに貢献された方を表彰する「別府市功労表彰式」を執り行いました。特に功労が顕著な方を表彰する「特別功労表彰」を受賞された5名の方々、「功労表彰」を受賞された24名の方々を紹介します。（順不同）

みやもり ともひさ  
宮森 智久さん



別府市遺族会連合会発足当初から長年にわたり、初代青年部長を務められた。平成24年からは会長として、戦没者の追悼・慰霊、戦没者遺族の相互扶助に尽力されている。また、厚生労働大臣から「戦没者遺族相談員」の委託を受け、英霊顕彰運動の推進、福祉向上に貢献された功績は大きい。

まつお つねみ  
松尾 常巳さん



昭和10年に映画看板絵師となつて以来、長年にわたり別府ブルーバード劇場をはじめ九州の映画館の看板絵を3千枚以上描き、来館した方々に感動を与えてこられた。絵師引退後も作品を創り続け、絵画展やイベントなどに出品。平成29年2月には、長年番台を務められた紙屋温泉の壁画として作品が展示され、共同温泉への愛着を深める新たな魅力となっている。

おかむら てる  
岡村 照さん



昭和46年に別府ブルーバード劇場館長に就任。お客様への気配りを念頭に、長年にわたり映画館を守り続けている。平成28年熊本・大分地震の際にも通常営業を行い、被災状況での地域住民の心の支えとなった。本市における貴重な映画館として映画文化の保全とその振興に貢献されている。

これなが しゅん  
是永 駿さん



平成22年に立命館アジア太平洋大学学長に就任。平成26年に文部科学省の「スーパーグローバル大学創成支援」事業において、「Global Learning」大学教育の新しい地平を目指す」が採択された。また、平成29年には別府市・立命館アジア太平洋大学・日本航空株式会社との3者が、産官学の包括連携協定を結ぶなど、大学の価値を高めるだけでなく、積極的に別府市や民間団体と連携することにより、市政の発展に貢献された。

ふくなが つたな  
福永 拙さん



長年にわたり、別府市をはじめ県下全域の肢体不自由児などの障がい児・者の療育に尽力された。平成15年に社会福祉法人別府発達医療センター長に就任し、管理者として各施設・事業を統率するとともに、NICUにおける早期リハビリテーションや在宅重症児の訪問診療に精力的に取り組まれている。また、平成18年から地域療育等支援事業等を受託し、地域の療育拠点施設として地域福祉の推進に貢献されている。

## 平成29年

### 別府市功労表彰

(敬称略・順不同)

#### 自治部門

彌田和好 土岐修

黒本美耶子 草牧徳明

大野秀雄

#### 公共福祉部門

田中利延 加來暢彦

片岡純子 志賀克磨

杉本邦弘 仲村好雄

白子俊彦 梶原英敏

小野数也 右田順次

三浦雅則 谷尻厚

田原稔弘

#### 教育・文化・スポーツ部門

財前宜宏 中尾和広

岩屋登美恵 (堀小登美江)

首藤末子 (本條秀精)

#### 市民活動部門

友研一 一万田千秋

特別功労表彰

氏名（敬称略）	功 績 内 容	役 職 等
松尾 常巳	<p>昭和10年に映画看板絵師となって以来、長年にわたり、別府ブルーバード劇場をはじめ九州の映画館の看板絵を3,000枚以上描き、来館した方々に感動を与えてこられた。絵師引退後も作品を創り続け、絵画展やイベント等に出品。平成29年2月には、長年番台を務められた紙屋温泉の壁画として作品が展示され、共同温泉への愛着を深める新たな魅力となっている。</p>	映画看板絵師
岡村 照	<p>昭和46年に別府ブルーバード劇場館長に就任。お客様への気配りを念頭に、46年の長きにわたり映画館を守り続けている。2016年熊本・大分地震の際にも通常営業を行ない、被災状況での地域住民の心の支えとなった。本市における貴重な映画館として映画文化の保全とその振興に貢献されている。</p>	別府ブルーバード劇場館長
宮森 智久	<p>別府市遺族会連合会発足当初から長年にわたり、初代青年部長を務められた。平成24年からは会長として、戦没者の追悼・慰霊、戦没者遺族の相互扶助に尽力されている。また、厚生労働大臣から「戦没者遺族相談員」の委託を受け、英霊顕彰運動の推進、福祉向上に貢献された功績は大きい。</p>	別府市遺族会連合会会長
是永 駿	<p>平成22年に立命館アジア太平洋大学学長に就任。平成26年に文部科学省の「スーパーグローバル大学創成支援」事業において、「Global Learning：大学教育の新しい地平を目指す」が採択された。また、平成29年にはJAL・別府市・立命館アジア太平洋大学の3者が、産官学の包括連携協定を結ぶなど、大学の価値を高めるだけでなく、積極的に別府市や民間団体と連携することにより、市政の発展に貢献された。</p>	立命館アジア太平洋大学学長 学校法人立命館副総長・理事
福永 拙	<p>平成11年から長年にわたり、別府市をはじめ県下全域の肢体不自由児等の障がい児・者の療育に尽力された。平成15年に社会福祉法人別府発達医療センター長に就任し、管理者として各施設・事業を統率するとともに、NICUにおける早期リハビリテーションや在宅重症児の訪問診療に精力的に取り組まれている。また、平成18年から地域療育等支援事業等を受託し、地域の療育拠点施設として地域福祉の推進に貢献されている。</p>	社会福祉法人別府発達医療センター副理事長兼センター長

## 功労表彰

### 自治部門（5名）

（敬称略・順不同）

氏 名	功 績 内 容
彌田 和好	9年にわたり、農業委員として別府市農業の振興に尽力された。農業委員会会長職務代理者の要職を経て、現在は別府市農地利用最適化推進委員として地域における現場活動に従事されている。
土岐 修	8年にわたり、別府市選挙管理委員として市議会議員、市長選挙及び県、国政選挙に関する管理に携わり、公明かつ適正な選挙と選挙人の政治常識の向上に努められた。また、平成24年からの4年間においては、別府市選挙管理委員長として委員会を代表する事務の責務を担われた。
黒本 美耶子	8年にわたり、別府市選挙管理委員として市議会議員、市長選挙及び県、国政選挙に関する管理に携わり、公明かつ適正な選挙と選挙人の政治常識の向上に努められた。また、平成24年からの4年間においては、別府市選挙管理委員長職務代理者として委員長の職務を代理する責務を担われた。
草牧 徳明	平成17年に別府市有林監視員に委嘱されて以来12年の長きにわたり、林野火災や盗伐の防止及び境界の監視等、広大な市有林野の保護取締りに努められた。また、市有林の植栽、下刈、間伐等の保育管理のための現地作業にも従事され、市有林の面積拡大及び保護育成に尽力された。
大野 秀雄	平成17年に別府市有林監視員に委嘱されて以来12年の長きにわたり、林野火災や盗伐の防止及び境界の監視等、広大な市有林野の保護取締りに努められた。また、市有林の植栽、下刈、間伐等の保育管理のための現地作業にも従事し、市有林の面積拡大及び保護育成に尽力された。

### 公共福祉部門（13名）

（敬称略・順不同）

氏 名	功 績 内 容
田中 利延	平成7年から大分県日本調理技能士会会長代行、18年からは会長として、ものづくり体験教室や高齢者施設への慰問、食育推進講座に取り組みされた。また、高校の調理科で指導を行い、調理技術の発展と、郷土料理の活用における技能の向上に貢献されている。
加来 暢彦	平成17年に別府市管工事協同組合役員に就任され、業界発展のため温泉文化や環境保全についての理解を広め、地域活性化に貢献された。現在も役員として組織の活性化に尽力されている。
片岡 純子	平成10年に別府地区更正保護女性会入会以来19年の長きにわたり、保護観察対象者の更生の援助に尽力し、地域における犯罪予防に貢献された。平成24年に理事に就任され、現在は書記を務められている。

## 功 労 表 彰

### 公共福祉部門（つづき）

（敬称略・順不同）

志賀 克磨	平成12年に保護司の委嘱を受けて以来、多くの保護観察対象者の更正援助に尽力されている。また「社会を明るくする運動」等の地域における防犯啓発活動にも積極的に参加され、別府保護区保護司会の会計補佐として会の運営発展に努められている。
杉本 邦弘	平成13年に保護司の委嘱を受けて以来、多くの保護観察対象者の更正援助に尽力されている。また「社会を明るくする運動」等の地域における防犯啓発活動にも積極的に参加されている。
仲村 好雄	平成16年から障害者を対象とした水泳の指導をボランティアで行っている。参加者が県の障害者スポーツ大会で好成績を残すなど、障害者の社会参加に寄与されている。また、指導において水中での有酸素運動を取り入れ、体力増強や健康維持の指導に努められている。
白子 俊彦	平成16年から障害者を対象とした水泳の指導をボランティアで行っている。参加者が県の障害者スポーツ大会で好成績を残すなど、障害者の社会参加に寄与されている。また、指導において水中での有酸素運動を取り入れ、体力増強や健康維持の指導に努められている。
梶原 英敏	昭和61年消防団員を拝命、平成17年に班長、平成21年に部長、平成25年に副分団長、平成27年に分団長へ昇任し、現在第11分団の分団長として部下団員を掌握し、住民との連携を保ち、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上に貢献されている。また、管内は宿泊施設があり、あらゆる機会をとらえ火災予防の啓発に努められている。
小野 数也	昭和62年消防団員を拝命、平成4年に班長、平成17年に部長へ昇任し、現在第10分団2部の部長として団員相互の融和に意を尽くす傍ら、豊富な経験を駆使し部下団員の育成指導及び火災予防の啓発に貢献され、団員はもちろん地域住民の信頼を集めている。
右田 順次	昭和62年消防団員を拝命、平成11年に班長、平成14年に部長、平成29年に副分団長へ昇任し、現在第10分団1部の副分団長として部下団員を掌握し、住民との連携を保ち、地区の防災活動の担い手として、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上に貢献され、団員はもちろん広く地域住民の信頼を集めている。
三浦 雅則	昭和62年消防団員を拝命、平成14年に班長、平成17年に部長へ昇任し、現在第14分団の部長として団員相互の融和に意を尽くす傍ら、豊富な経験を駆使し部下団員の育成指導及び火災予防の啓発に貢献され、団員はもちろん広く地域住民の信頼を集めている。
谷尻 厚	昭和62年消防団員を拝命、平成15年に班長、平成26年に部長へ昇任し、現在第4分団の部長として団員相互の融和に意を尽くす傍ら、豊富な経験を駆使し部下団員の教育、訓練指導や技術の向上に貢献されている。また、管内は密集地が多く、地域住民との連携を保ち、あらゆる機会をとらえて火災予防の啓発に努められている。

## 功労表彰

### 公共福祉部門（つづき）

（敬称略・順不同）

<p>田原 稔弘</p>	<p>昭和62年消防団員を拝命、平成13年に班長、平成21年に部長へ昇任し、現在第15分団の部長として団員相互の融和に意を尽くす傍ら、豊富な経験を駆使し、部下団員の育成指導にあたるなど、団員はもちろん広く地域住民の信頼を集めている。また、地域の各種会合に積極的に参加し、火災予防の啓発に努められている。</p>
--------------	---

### 教育・文化・スポーツ部門（4名）

（敬称略・順不同）

氏名	功績内容
<p>財前 宜宏</p>	<p>19年にわたり別府市剣道連盟下の指導者として、少年剣士の育成と技術の向上のために尽力されている。多くの剣士を輩出し、剣道の普及、発展に貢献された功績は多大である。現在は別府市剣道連盟副理事長を務められている。</p>
<p>中尾 和広</p>	<p>平成17年に別府市サッカー協会副会長に就任し、平成23年から現在まで同協会会長を務められている。平成9年に別府シニアベテランサッカー倶楽部を設立するなど、本市のサッカーの発展、普及、及び生涯を通してスポーツを楽しむように尽力された功績は多大である。</p>
<p>岩屋 登美恵 （堀小登美江）</p>	<p>昭和47年に小唄の師匠となり、その後絃秀会の会主として43年にわたり活動し、後進の育成に尽力された。また、市内の老人ホームへの慰問活動や、高校の文化教室での三味線指導を積極的に行い、日本の「古典芸能文化」の継承に努められた。</p>
<p>首藤 末子 （本條 秀精）</p>	<p>長年にわたり、本條秀精会の会主として三味線音楽の普及に努められている。本條流で流儀曲として定めている独自の音楽「俚奏楽」の普及、発展、伝承のために三味線の奏法指導を行い、後進の育成に多大な尽力をされている。</p>

### 市民活動部門（2名）

（敬称略・順不同）

氏名	功績内容
<p>友 研一</p>	<p>昭和38年に別府鶴見丘高校ヨット部を創立。昭和41年大分国体に向けて選手強化、選手の発掘、育成に尽力し、世界で活躍する選手を輩出した。昭和39年大分県ヨット連盟理事長に就任し、平成21年から現在まで顧問として、青少年の健全育成や北浜ヨットハーバー周辺環境維持を行うなど、ヨット競技者の活動の促進及び近隣地域の活性化に貢献されている。</p>
<p>一万田 千秋</p>	<p>20年にわたり大和温泉組合の監査として運営に当たり、組合の発展に貢献された。また、平成15年の野口元二商店街発足当初から副会長に就任し、現在は会長として商店街活動に尽力され、地域住民から信頼される存在である。</p>